



常陸大宮駅周辺整備だより

11/2 JR常陸大宮新駅舎・自由通路イメージ図公開

JR東日本など関係機関と協議を重ね、常陸大宮駅の新駅舎・自由通路の基本設計が完了しました。1820(文政3)年から現在まで続く『西塩子の回り舞台』(県指定有形民俗文化財)をモチーフとした大きな屋根によって、東口駅舎・西口駅舎・自由通路が一体的な場として共存する、未来へつなぐ新しい駅舎です。今後も2025年度の完成に向けて整備を進めていきます。



駅舎鳥瞰図



自由通路外観



自由通路内観

11/12 東西自由通路・駅舎 実施設計協定の締結

基本設計に引き続き、東日本旅客鉄道株式会社と「常陸大宮駅東西自由通路・新駅舎整備に伴う実施設計協定」を締結しました。



(左) 小川水戸支社長 (右) 鈴木市長

10/9 公園づくりワークショップ in OTTY'S CAFE

駅西側の市有地に計画中の交流拠点について、「子育て世代にやさしいカフェ」をテーマに第2回公園づくりワークショップを開催しました。市内のカフェを会場に、12名(+お子さん3名)の参加者がカフェでしたいことや必要とするものなどの共有を行いました。



グループワークの様子

12/10-11.18

駅西交流拠点 社会実験の実施

子育て支援や市民交流の場を目的とした公園を整備するため、駅西側の市有地に計画中の駅西交流拠点計画地において、「にぎわい」「インクルーシブ*」「防災機能」および夜間照明の検証をするため、社会実験を実施しました。

昼の『インクルーシブ』（10・11日）では、インクルーシブ遊具体験や防災・防火体験など、夜の『あかり』（18日）では、照明強度の実験や野外上映など、全日を通して子ども向けワークショップやキッチンカーの出店などを行いました。来場者数は3日間で延べ1,522名でした。



インクルーシブ遊具①



インクルーシブ遊具②



お菓子のリュックづくり



照明強度の実験



光のらくがき

*インクルーシブ（英：inclusive）

意味：包摂的な、包括的な

『あらゆる人が仲間はずれにされない社会』を目指す考え方のこと

10/6 官民連携のまちづくり 下町地内宅地分譲開発

株式会社ノーブルホームと「下町地内宅地分譲開発に係る基本協定等」を締結しました。下町地内（JT跡地）において、同社が進めている宅地分譲開発における市道整備事業及び上下水道整備事業について、相互に協力・連携し、魅力あるまちづくりを進めます。



(左) 鈴木市長 (右) 福井代表取締役

2/17 駅周辺の活性化を題材 に専門学生が課題制作

文化デザイナー学院の学生が「常陸大宮駅周辺の活性化」を題材にシティプロモーションや建築設計などに取り組みました。選抜された学生14名（12組）がプレゼンテーションを行い、特に優秀な2つの提案に市長賞が授与されました。



市長賞を受賞した提案の建築模型

【発行元・問合せ先】 常陸大宮市 建設部 駅周辺整備推進課

☎ 0295-52-1111

📠 0295-53-5415

✉ ekiseibi@city.hitachiomiya.lg.jp